

平成 29 年 12 月 21 日 00357 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

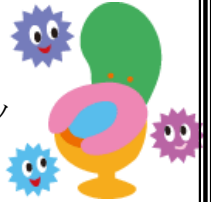
URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】北見市武道館感染予防月間(11月1日～4月30日)！

ウイルス感染予防のお知らせとご協力⑥ノロウイルス二次感染を予防するために迅速な対応が求められ受付と各道場には、嘔吐用のビニール袋



や新聞紙・マスク・ゴム手袋・バスタオル等が入った青バケツが用意されています。各道場のバケツに塩素消毒剤は入れてありません。消毒剤は受付に塩素濃度 0.05%～0.1%になるように塩素剤と水を二つの容器に分け事前に用意しています。混ぜ合わせる際は、塩素剤が手に付着しないようにゴム手袋をして行います。



北見柔道連盟杯争奪柔道大会が開催！

12月17日(日)第32回北見柔道連盟杯争奪柔道大会が開催され晴天に恵まれた北見市武道館には選手・応援者合わせて約200名が集まり、一年を締めくくる大会は「団体戦(1部・2部)・形の部・個人戦(男女)」があり、子供から社会人まで参加できると親しまれています。地元の大会に参加するために大阪から舞い戻った選手もいて、真剣勝負の中にも和やかな雰囲気で終了しました。



どすこい！ 相撲の稽古を武道館で始めます！

12月9日・16日(土)相撲の稽古が武道館で行われました。北見市相撲協会(古河達幸会長)は津別町や大空町でこれまで稽古を行っていましたが、今後は武道館で行う計画とのことです。監督の白尾聡さんは「武道館は環境もよく、集まりやすい。来年2月の高体連に向けトレーニングを行っていききたい」と今後武道館を拠点に相撲の活動を行う方針を伝えてくれました。



連載「武道宝鑑」第15弾柔道秘訣 柔道教士七段 中野正三「内股の妙味」

古歌に曰く「うつるとも、月も思わず、うつすとも、水も思わぬ、廣澤の池」の歌の心は私共に業の妙味を諷刺、教訓を与えた名句であり、且つ十分吟味すべき名句かと存じます。近時の様に勝負のみを主眼として、勝たんが為の稽古では、自他共に体が固くなり、眞の業の妙味を吟味することが出来るや否や、疑われます。業を鍛う事を主眼として心から体を錬れば自然の妙味触れる雰囲気^{ふんいき}に到達することが出来るかと存じます。

押すもよし押さるるもよし縄暖簾 右は私の駄句であります、右の勝たんがための稽古で固くなった業よりも、柔能制剛の柔かい業の妙味を味うために駄句ったものです。總て業はこの方針に依って修得したものが眞の業の妙味と存じます。又是非斯くありたいものと思ひます。 完

次週は、連載「武道宝鑑」第16弾柔道秘訣 柔道教士七段 徳三宝『所感』をご紹介します。